

ASCI2015に参加して

JCHO 北海道病院 山口隆義

皆様、こんにちは。JCHO（ジェイコー）北海道病院の山口です。今回は、ASCI(Asian society of cardiovascular imaging)に参加して来ましたので報告します。ASCIは今年で9回目となりました。過去には日本でも開催された事があり、これを含めて香港やバンコクでの開催時にも参加したことがあります。今年はマレーシアのクアラルンプールでした。心臓CTではSCCTが有名ですが、ASCIは心臓関連のイメージングモダリティ全てが対象なので、様々なモダリティの最新情報を一度に得る事ができます。また、教育的なプログラムもあるため、初学者にとっても参加しやすい会だと思います。

今年も、これまでと同様にポスターセッションにエントリーしたのですが、会の方から“scientific sessionで話さないか？”とメールが来ました。実は、radiotechnologistの参加は少なく殆どが医師なので、少々気負いし“ポスターのまま”と返信してしまいました。ところが、ポスターセッションも司会者付のmoderated posterに分類され、結局口述発表と同じ状況でした。まあ、未熟者なので経験値を上げるには良かったかなと思っています。日本からはご存知愛媛大学や三重大学から口述やポスター発表があり、数名の先生は講演もされておりました。

話題は多岐に渡っておりましたが、CTに関しては心臓領域での適応拡大を意識した急性冠症候群の評価やstructure系、FFRCTなどがあり、特にCT perfusionに関しては日本のお家芸といった感じで日本の先生が目立っておりました。2日目のプログラム終了後に行われたカクテルパーティーでは、日本の放射線科医の先生達と楽しい時間も過ごすことが出来ました。また、ブースも出ていましたが、現地の東芝の方（もちろんマレーの方です）が私の発表の時に話かけてくれました。“まだ、Ver.7が来ないんだよね。だから心臓のサブトラクションも出来ないのさ。”と話されていましたよ。

クアラルンプールは大都会ではありますが、そこら中でどんどん

新しいビルの建設が行われており、勢いを感じました。将来はもっと大都会になるのでしょうか。東南アジア圏での医療に関わる市場も急成長しているようなので、日本から技術発信が出来れば良いな～と思っています。来年はシンガポールで第 10 回目が開催されます。ご一緒しませんか？